

# 猪苗代高等学校 進路だより

平成29年5月8日（月）発行

新年度が始まり、一か月が経ちました。ようやくそれぞれの学年での生活にも慣れてきた頃ではないでしょうか。心に余裕もでき、まだまだフレッシュな気持ちでいる今、ぜひ未来に目を向けてほしいと思います。「どんな自分になりたいか」という目標に向けて歩みを進めていきましょう。

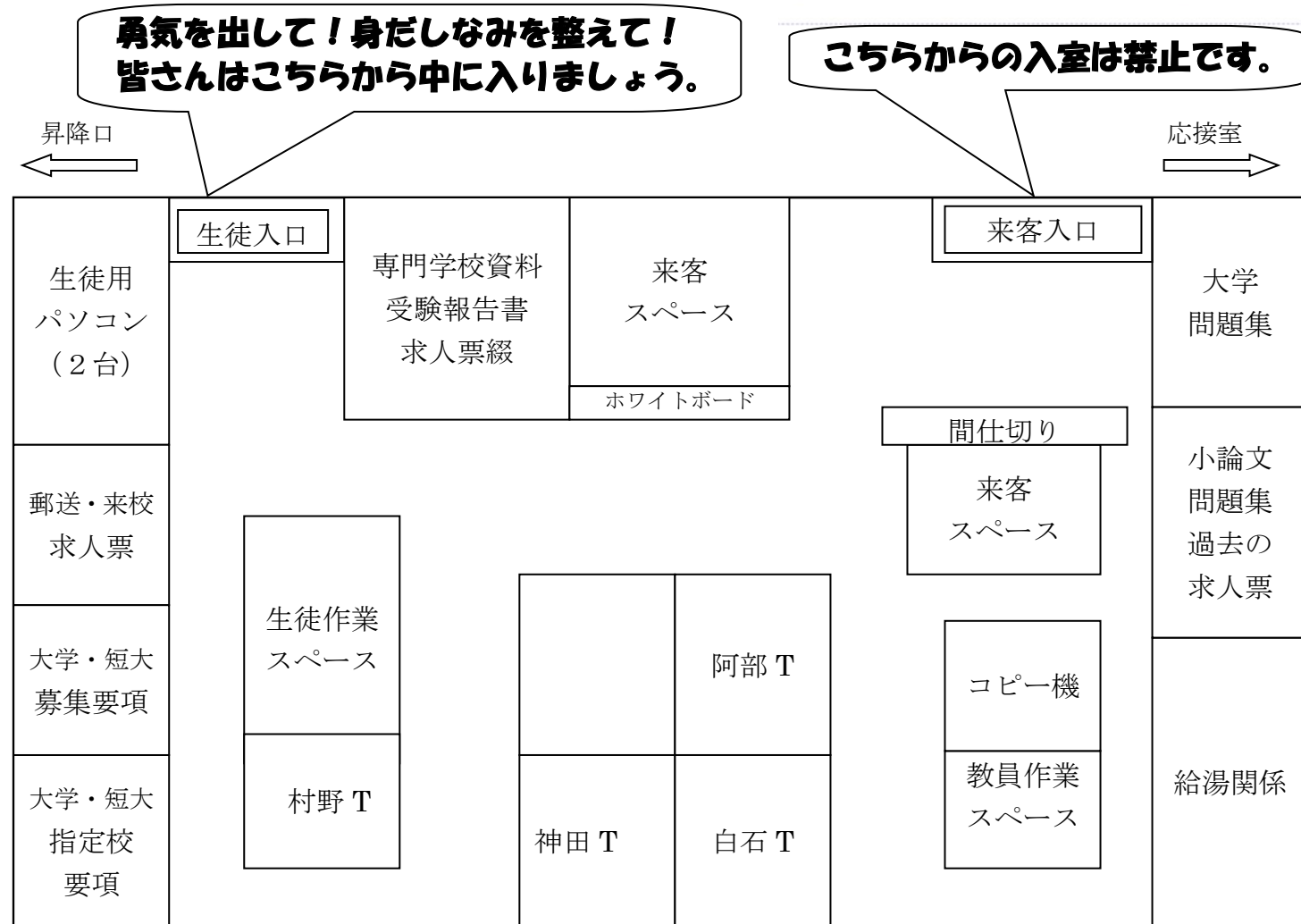
この「進路だより」は、生徒の皆さんに必要な情報を月1回のペースでお届けします。ぜひ皆さんの進路実現に役立ててください。もっと詳しいことが知りたい時や相談したい時は、気軽に進路室においでください。

## ◇進路室について◇

・入室時には次のことに気をつけよう。

- ① 服装や頭髪を整える。
- ② ノックをする。→「失礼します。」  
→「〇年〇組の〇〇〇です。」  
→「〇〇先生に用があって参りました。」  
(用事が済む)  
→「失礼しました。」

・進路室配置図は下のようになっています。



**勇気を出して！身だしなみを整えて！  
皆さんはこちらから中に入りましょう。**

**こちらからの入室は禁止です。**



## ◇「進路の手引き」を活用しよう!!!◇

【 1 学年 】	【 2 学年 】	【 3 学年 】
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の興味・関心のある事柄を探し出し、仕事に結びつための道筋を調べる。</li> <li>2. 自分の適性を知る。</li> <li>3. 仕事について考える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 興味・関心のある内容を絞り込み、内容に関して深化させる。</li> <li>2. 具体的な職業についての考えをまとめる。</li> <li>3. 具体的進路の方向性を考える。(2学期前半までに)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 具体的な進路先の最終決定と試験に向けての対策をする。</li> </ol>
<b>進路の手引き活用例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ライフプラン</li> <li>● 自己分析</li> <li>● 職業研究</li> <li>● フリーター</li> <li>● 入試の種類</li> <li>● 進学とお金</li> <li>● スケジュール</li> <li>● 資料</li> </ul>	<b>進路の手引き活用例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会問題</li> <li>● 希望職種・上級学校調べ</li> <li>● 公務員試験について</li> <li>● 進学とお金</li> <li>● 求人票の見方</li> <li>● スケジュール</li> <li>● 資料</li> </ul>	<b>進路の手引き活用例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 面接マニュアル</li> <li>● 面接の質問事項例</li> <li>● 礼状の書き方</li> <li>● 履歴書の書き方</li> <li>● 希望企業の研究</li> <li>● スケジュール</li> <li>● 資料</li> </ul>

## ◇進路室メンバーから◇

◎村野博美：利用しやすい進路室を目指しています。進路決定のためには、必要な情報を収集することから始まります。皆さんの進路実現のために、いろいろな方策を考えていきますので、進路室を活用して下さい。

○神田みほ子：進路決定、進路実現はまだまだ先・・・と思っていませんか。いつ動き出すか。それは「今」です。進路指導室には、皆さんの進路実現に必要な情報がたくさんそろっています。ぜひ、一度足を運んでみてください。

白石 守：何事も早めの準備が良い結果をもたらします。大切な自分の将来について、早くから情報を集め目標に向かって努力を積み重ねるか、先延ばしにしてぎりぎりになって進路を決断するか、皆さんはどちらを選びますか？

阿部大地：就職したい人は大人（年上の人）とのコミュニケーション能力を磨きましょう。進学したい人は、100万円以上の学費がかかっても学びたいことを考えましょう。

## ◇◇

### 進路目標に向かう前に心にとどめておいてほしいこと

三年生の皆さんは今どのような心境でしょうか。進路目標が明確になっている人もいれば、まだ就職と進学のどちらの道に進むべきか悩んでいる人もいることかと思えます。限られた時間のなかで早期に進路目標を決定し、努力を積み重ねていくことはとても重要なことです。しかし、進路目標に向かって努力を始める前に一つ心にとどめておいてほしいことがあります。それは、「自分一人では進路を達成することはできない」ということです。

例えば就職であれば、先生方に面接練習をお願いして、様々な指導を受けていくことになります。また進学であれば、保護者の方に何十万、何百万という学費を支払っていただいで進学することになります。もっと極端な例を示せば、就職試験や進学の推薦試験は、校長先生の推薦がなければ、受験することができません。教員、保護者、友人など多くの人の協力を得て初めて進路目標に向かっていくことを決して忘れてください。皆さんのこれからのがんばりを応援しています。

